

<南の風>むさしの共育フォーラム

# 子どもと

# もっといい関係を!

——ともに楽しく学べる総合学習の授業案づくり

## 2003年2月14日 [金]

<南の風>共育フォーラム講演会

講師 **汐見稔幸** 東京大学大学院教授・教育人間学

「教師と子どもの関係をひらく  
—学力低下の議論を超えて」 +フリー討論

時 間: 18:30 ~ 21:00 (18:15 受付)

会 場: 武蔵野スイングビル 10 階スカイルーム  
(JR 武蔵境北口徒歩 1 分 / tel. 0422-54-1313)

対 象: 一般 100 名

参加費: 1,000 円 (資料代含む)

助 成: (財)東京国際交流財団

後 援: 東京都教育委員会(申請中)、武蔵野市国際交流協会 他

■共催

(特活)シャプラニール = 市民による海外協力の会  
シャプラニール地域連絡会むさしの

■申し込み連絡先

(特活)シャプラニール = 市民による海外協力の会  
担当:坂口 (火~土曜日 10:00 ~ 18:00)

tel: 03-3202-7863

fax: 03-3202-4593

e-mail: info@shaplaneer.org

http://www.shaplaneer.org/

■企画・問合せ先

<南の風>むさしの共育フォーラム

e-mail: musasino@tonpo.net

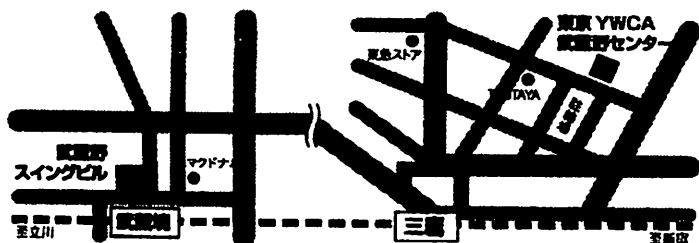
tel, fax: 042-345-9336 (アスマ)

(月・火の夜または日曜日の午後または夜のみ対応)

■会場案内

武蔵野スイングビル: JR 武蔵境駅北口徒歩 1 分

東京YWCA武蔵野センター: JR 三鷹駅北口徒歩 3 分



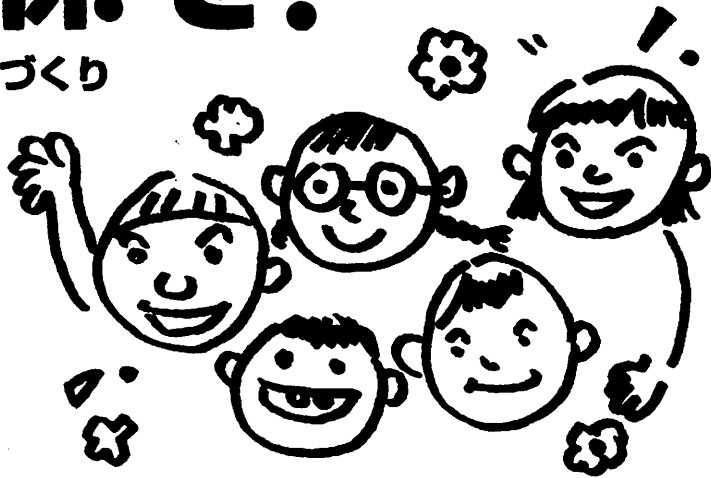
2会場ともJR中央線新宿駅より30分以内  
西武新宿線、京王線からもバス便多数



特定非営利活動法人

シャプラニール

= 市民による海外協力の会



## 3月29日 [土] 30日 [日]

<南の風>共育フォーラム ワークショップ

対 象: 教育関係者、NGO・NPO、国際交流の担い手など  
参加費: 3,000 円 (参加費: 1,500 円、資料代: 1,500 円)

\* 2月の講演会と共通割引有り

定 員: 40 名 (要申込)

助 成: (財)東京国際交流財団

後 援: (特活)開発教育協会、武蔵野市国際交流協会 他

1日目・3月29日 [土]

## からだをひらく、心をひらく

ファシリテーター: 中野民夫 ワークショップ企画プロデューサー

## ソフィアさんちの家族マップ

—バングラデシュの村を知る(教材ワーク)

ファシリテーター: 東 宏乃 共育ファシリテーター

シャプラニール開発教育チーム

詳細は裏面をご覧ください

時 間: 13:00 ~ 17:00 (12:30 受付)

会 場: 東京YWCA 武蔵野センター

(JR 三鷹駅北口徒歩 3 分 / tel. 0422-52-3881)

2日目・3月30日 [日]

## 学びの広場をこしらえる

詳細は裏面をご覧ください

講 師: 岩川直樹 埼玉大学教育学部助教授

増田修治 朝霞第二小学校

シャプラニール、金馬隆晴 法政大学非常勤講師 他

時 間: 9:30 ~ 17:00 (9:15 開場)

会 場: 武蔵野スイングビル 11 階レインボーサロン

(JR 武蔵境駅北口徒歩 1 分 / tel. 0422-54-1313)

総合的な学習の時間—どのようにとりこんでいますか？

「国際的な視点」「教科の枠を超えて」といっても、

具体的にはどんなテーマで、

どのように児童・生徒にアプローチしたらよいのでしょうか。

講演会では、「生きる力をはぐくむ教育」

の原点についてわかりやすく考えます。

ワークショップでは、主に**開発教育・国際理解の視点から、**

南アジアを例に、**授業にすぐ応用できるノウハウ**を伝え合ひましょう。

そして、ここで体験する参加型ワークのおもしろさは、学びの入り口と深さに通じます。

何より、選りすぐりの講師陣。今フォーラムで得たアイデアや手法は、

必ず他の教科や学級活動にも役立ち、そして学校とNGO・市民をよりよくつなぐことでしょう。

**みんなで元気になる“共育”フォーラム**です。

<南の風>むさしの共育フォーラム

# 子どもと もっといい関係を!

ともに楽しく学べる総合学習の授業案づくり

## 共育ワークショップって?

共に育つ、共育(きょういく)。

いっしょに学びあおうという気持ちや関係を大切にしようと思って

地域の市民活動で生まれた言葉です。

先生が生徒から学ぶ、

モノが豊かではない地域から来た外国人に生きる豊かさを教わる。

ハンディをもった人の意見にハッと気付かされるなど、

従来の「教え—教えられる関係」を超えたつながり、

そのおもしろさが「共育(ともいく)」のすごさです。

頭で考えるばかりでなく、感じることに素直になる、

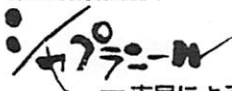
いろいろな生き方をもった参加者と出会い、

わくわくする体験が生まれる。それも共育的。

さあ、日頃の役割から少し自由になり、輪になって、

もう一つの学びの入り口にいっしょに立ちませんか?

特定非営利活動法人



＝市民による海外協力の会

チャラニールとは1972年設立の民間海外協力団体(NGO)で、平和で公正かつ、多様な地域社会の実現を目指し、一般市民のご理解とご支援によって活動しています。バングラデシュとネパールでは貧困層の人々約7万人の生活向上を支援しています。また現地の女性たちが生活向上のために作った手工芸品を輸入販売し文化の紹介に努めています。こうした活動に対して、これまでに吉川英治文化賞、東京弁護士会人権賞、外務大臣特別表彰、毎日国際交流賞が授与されました。

## <南の風>共育フォーラム ワークショップのプログラム

1日目・3月29日[土] / 東京 YWCA 武蔵野センター

- 12:30 受付
- 13:00 ワーク1「からだをひらいて、心をひらいて」  
ファシリテーター：中野民夫
- 15:15 ワーク2「ソフィアさんちの家族マップ—バングラデシュの村を知る」  
ファシリテーター：東 宏乃 & シャラニール開発教育チーム
- 16:30 ふりかえり
- 17:00 1日目終了
- 17:30 交流会・カレーを手で味わってみよう(任意参加・要申込み) ~ 19:00

2日目・3月30日[日] / 武蔵野スイングビル11階レインボーサロン

- 9:30 【分科会I-A】**誰でもできるユーモア詩の授業**  
講師：増田修治
- 【分科会I-B】**100人のストリートチルドレンに出会う**  
講師：シャラニール
- 11:30 昼食
- 12:30 【分科会II】**グループで授業案をつくってみよう**  
講師：シャラニール、アジア関係のNGO 他  
教材：フォトランゲージと生活グッズなど多彩
- 1. 都市の子ども・村の子ども 2. 村の暮らしと謙字
- 3. アジアの生活文化 4. 水と食—トイレからカレーまで(予定)
- 13:45 グループ成果の発表とふりかえり
- 14:30 講演「**学びの広場をこしらえる**」+フリー討議  
講師：岩川直樹
- 16:30 ふりかえり・自由討論
- 17:00 解散

※1日目と2日目は会場が異なります。

もちもの  
あなたの疑問と  
アイデア  
遊び心  
ちょっと疲れた体

## 講演会 & ワークショップ講師紹介 (敬称略)

汐見穂幸 しほみ としゆき

東京大学大学院教育学研究科・教授、  
教育人間学

1947年大阪・堺生まれ。東京大学教育学部、大学院教育学研究科に学ぶ。父と母・地域による子育て、幼児教育・保育、ことばと教育、学び中心の授業改革、戦後教育史などの著作とテレビ出演多数。また地域とアジアにおける学びの場づくりにも協力。著書は「教育」からの脱皮(ひとなる書房)、「親子ストレス」(平凡社新書)、「地球時代の子どもと教育」(ひとなる書房)ほか多数。編集代表として「小学校—【教え】から【学び】への授業づくり」全9巻(大月書店)、「こうすれば学校は変わる—新学習指導要領と私たちの提言」(大月書店)を教師とともに出版。共著、雑誌論文も多数。

中野民夫 なかの たみお

ワークショップ企画プロデューサー

1957年東京生まれ。東京大学文学部卒。学生時代は登山やアジア・中南米への一人旅。広告会社に就職、大阪での営業職を経て、1990年前後にカリフォルニアに留学し、組織改革やディープエコロジーを学ぶ。以後、会社で広報、企業・行政・NGOをつなぐ企画に携わる一方、環境や人に関わる市民活動に従事。最近、参加型の場づくりを求める様々な方面からの依頼で、数多くの講座やワークショップに招かれている。社団法人日本環境教育フォーラム理事、日本トランスパーソナル学会理事。主著「ワークショップ—新しい学びと創造の場」(岩波新書)、共訳書に「地球の声を聴く」(アルネス他著、ほんの木)、他。

岩川直樹 いわかわ なおき

埼玉大学教育学部助教授、臨床教育学

1960年静岡・清水生まれ。東京大学文学部心理学科、大学院教育学研究科に学び、現職。様々な人々の聲(ヴォイス)を織りなす広場に学校をつくりかえるには?総合的な学習の時間における教師のコーディネーター・ファシリテーターとしての役割は?その知恵を学校などの現場で実践家とともに探る。総合的な学習の時間と開発教育との関わりについての講演も多数。主著は「総合学習を学びの広場に—手づくりと協同の知恵—」(大月書店)。共著も「学力」を問う」(汐見・岩川編、草土文化)、「人権の絵本」(平和と戦争の絵本—一人はなせ争うの) (大月書店)、「感情のABC」(草土文化)ほか多数。

増田修治 ますだ しゅうじ

埼玉県朝霞市立第二小学校、埼玉大学非常勤講師  
1958年埼玉・川越生まれ。埼玉大学教育学部を卒業後、朝霞市内の小学校に勤務。日本生活教育連盟・日本作文の会などに所属。2000年にTBSテレビの地球満歩計で「小学生におけるドラッグの学習」、2001年にはNHKニュース10で「子どもが見つめた命と戦争(アメリカのテロ事件)」などの実践が紹介される。最近では2002年7月18日のNHKにんげんドキュメントで「詩が踊る教室」としてユーモア詩の実践授業が紹介される。著書は「話を聞いてよ、お父さん!比べないでね、お母さん!」(主婦の友社)、「子供力!詩を書くキッズ」(弓立社)、「笑って伸ばす子どもの力」(主婦の友社)など。